

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みどり			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 28日		～	2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55人	(回答者数)	43人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 28日		～	2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	バリアフリーが施されている。	知的障がいの子供だけではなく、車いすや歩行困難な身体障がいの子供も受け入れを行っている。	引き続き、他の部署に所属している看護師との報連相を行い、必要に応じて面談時の同席などを依頼する。
2	利用者の特性に沿った活動の提供をしている。	利用者の特性を把握し、少しずつ段階を上げた支援が行えるように職員間で話し合っている。	将来に向けて、日常動作だけではなく就労に繋がる内容を取り入れていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	稼働率が低い。	急な欠席が出た時に、スポット利用を依頼できる利用者数が少ない。	面談の時など、契約曜日以外の利用希望を調査する。場合によって、日数が超えない範囲で臨時利用を促していく。
2	車いす利用者の送迎（受け入れ）が1日1人しかできない。	車いす対応の社用車が1台のみである。さらに車両内に車いすが固定できる装置が1台しかない。	車いすの利用者が同じ曜日に重ならないようにしたり、他の部署の車両が空いていれば時間で借りれるように調整を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス みどり

公表日 2025年6月16日

利用児童数 55人 回収数 43枚 (78.18%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	10	1	3	0	・施設として手狭と感じる。	・活動の時は/バーテーションで仕切ったり、事務所で個別活動を行などの対応をしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	2	0	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	2	0	5	0	・平面でバリアフリーになっている。 ・もう少し広い方が良いのかなとは思いますが、あまり広いと先生の目が届かないのかなとも…。	・不要な物はルームから片付け、少しでも広く使えるようにします。また、職員も全体が見れるように配置して、安全に活動や遊びができるように心掛けます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	0	1	5	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	3	0	0	0	・少ない利用ですが、しっかりと特性を把握して下さっていると感じます。 ・子供の苦手なことを理解し、活動に取り組んでいると思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	1	0	2	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	0	0	2	0	・子どもにとって無理のない計画、課題を設定して頂いています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	1	0	5	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	0	0	1	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	0	0	4	0	・その子その子に合わせてくれる。 ・個別活動等本人の特性に合わせて取り組んでいると思います。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	5	8	18	0	・このままで良い。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	0	0	1	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42	0	0	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	11	3	14	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	40	3	0	0	0	・面談などで色々と相談させて頂いて意見をもらっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	4	0	2	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	3	0	2	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	9	7	22	0		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	2	0	4	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	1	0	1	3		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35	0	0	5	3	・提供記録で親はわかっているが、子供はわかっている。 ・ホームページ等で日々の活動の様子を写真などとともに伝えてくださり、様子がよく分かります。	・引き続きホームページや通信などで発信をしていきます。お子さんでも興味を持ってもらえる内容を心掛けていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	3	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	4	0	12	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1	0	16	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1	0	6	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	2	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	2	0	0	3	・スタッフの方々こと、とても好きな様子です。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	5	0	1	3	・4月始めから行きたがらない時は長かったですが、今はやる気まんまんです。スタッフの方の根気と温かさのおかげです。 ・長期休暇を含め、放課後も楽しく通えているようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	2	0	0	3	・野外活動の金額が高い時は少し困る。 ・おやつを手作りで旬な物を使いうれしいです。 ・とても丁寧なご支援に感謝しております。 ・毎回色々なプログラムを考えてくださり、子供も楽しく通うことができています。	・物価高騰の影響もありますが、無料の施設や手帳などで割引になる場所を検討し、ご家庭の負担を抑えられるように努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス みどり		2025年 6月 16日					
		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	0	・バーデーションや事務所（静養室）を活用している。個別に落ち着く場所がない。 ・成長にともない、高学年の増加により、定員いっぱいの利用はスペースが足りなく感じる。	・崩れてしまった時に落ち着けるスペース（バーデーション）などを増やして対応できると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	0	・個別の部屋を設けるスペースがないため、事務所を併用及び重立で仕切る。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	0	・ミーティングを毎日行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	1	・わからない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	0	・者、児に対する研修はない。	・法人内の研修だけではなく、外部研修にも積極的に参加を促す。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	・担当の案案に対し、意見やアイデアを言い創意工夫されている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0		
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	0	・自己決定力支援はまだ少ないように思う。	・おやつや活動の時など、興味のある所から取り組み、少ない選択肢から自己決定ができるように支援していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	0	・情報共有を図る努力は常にしているが、学校側が積極的でない場合がある。	・継続的に発信し、返答をもらえるようにする。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	1		・まだ卒業生がいないため、現在はしていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	1	・地域の子どもの交流は経験したことがない。やっているかもしれないが。	・現在は交流を行っていない。参加の機会があれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	1	・迎えに来た保護者との会話を大切にしている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0		

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	・ビデオ研修は頻繁であるが、実践において高め合うようなアドバイス等が少ない。	・パニック時の対応や疑問を持った時などは、帰りのミーティングでその都度話し合えるようにする。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	0	・ビデオ研修は頻繁であるが、実践において高め合うようなアドバイス等が少ない。	・次年度より「身体拘束および行動制限の同意書」を説明し、サインをもらう。